

第18回 法人実践研究発表大会

委員会活動報告 2026



大会会場(演台より撮影)



理事長挨拶



永年勤続表彰(10年)



発表(保育部門)



発表(介護部門)



アンケート回収



特別講演



総評(保育部門)



懇親会(乾杯)

第18回法人実践研究発表大会 2026.2.23

2026年2月23日(月)、大阪府立国際会議場(グランキューブ大阪)において、第18回大会を開催いたしました。昨年度と同じ会場で、ゆったりとした環境の中、天候にも恵まれたため、参加者の皆様には非常に良い条件でご参加いただけました。今年は発表数を例年の半分に絞り、各発表は表現力や工夫を凝らした充実した内容となったと感じております。休憩時間も十分に確保していたため、理事長の基調講演が時間に押され短縮される場面もありましたが、参加者には余裕があり良かったと思います。取材に際しては、関係者の皆様や参加者の皆様のご協力に感謝申し上げます。

スケジュールは例年通り進行し、まず理事長の挨拶、永年勤続表彰、辞令交付式を経て、保育・介護の分野に分かれた実践研究発表へと移りました。基調講演では、濱田理事長から晋栄福祉会の成り立ちや、今後の目指すべき方向性(中核)についてお話しいただきました。また、特別講演として中山ちどりの二名による大学院入学体験などの興味深い内容も紹介されました。

第18回 法人研究発表大会

今年は大会議場（1001～1003会議室）で保育部門8タイトル、別室（108～109会議室）で介護部門7タイトルの発表があり、演題が絞られた分、より充実した研究発表になったと思います。特に保育部門は昨年1題15分から20分と拡大され、導入部で参加者の注目を集めるために科学の実演を行うなど、工夫が見られてとても楽しく拝聴しました。また大会後は、3階のイベントホールに移動して、盛大な懇親会が行われました。

—表彰・辞令交付式・発表・講演・懇親会—

